

# 要

四年  
 筆順 一 西 尹 要 要  
 〇 ン ヨウ  
 〇 ン い 川 る

成り立ち



人が両手を「こし（腰）」にあてて立っているすがたを表した字で、「こし」のこを表した字です。

「こし」は、体を使うときに、一番たいせつな所なので、「たいせつな所」という意味に使われるようになりました。【例要所、要点、重要。

たいせつなものは「いる」ので、「要る」というように使われます。【例必要、不要。

たいせつなもの「もとめる」ので、「もとめる」という意味にも使います。【例要求、強要、要望。

「要」が「たいせつ」「いる」「もとめる」の意味に使われますので、「こし」の意味を表す字は「腰」となりました。

使い方

▽要らない物を整理するのに急ぐと、重要な物まで整理して、あとで困ることがあります。

▽必要な物は、多くは重要な物でしょうが、必要な物は必ず重要な物とは限っていません。

熟語例

▽必要（必ず要ること。それが無いとどうしても困るような物事）

▽重要（大事な事や大切な物。非常に大切であるという意味。「肝要」と同じです。）

▽肝要（「肝腎要」とも言います。肝臓と腎臓とは必要であり重要な器官ですので、「非常に大切」なことを言うのに使います。）

▽要求（要も「求める」意。強く求めること。）

▽要望（求め望むこと。強く望むこと。）

▽強要（強いて求めること。無理に求めること。）

▽要点（必要な点。または、重要な点。大切な所。【例本を読んだら、要点を書きとめておきます。】

使い方

▽親が年を取ったら、子が親を養うのが自然の人情です。▽体を養うことも大切ですが、気力を養うことも大切です。

熟語例

▽養生（生。体を養う意味で、食べ物や健康に気をつけることを言います。）

▽養育（子どもを養い育てること。【例東京にうつつて養育費が大そうかかるようになりました。】

▽養殖（魚などを人工的に養い育てて殖やすこと。【例浜名湖ふきんでは、うなぎの養殖が盛んです。】

▽栄養（生物が成長し、活動するのに必要な食べ物。養分）の意味にも使います。）

▽養分（栄養となる成分のこと。滋養分）

▽養老（老人を養うこと。老人の世話をすること。）

▽教養（教育によって養われた品格。また、心を養い高める学問や知識の意味にも使います。【例あの人は一挙手一投足にも教養の深さが見られます。】

# 養

四年  
 筆順 一 五 羊 養  
 〇 ン ヨウ  
 〇 ン やしな 川 う

成り立ち



「羊」の頭の形を表した「羊」と、「食」という字とを組み合わせて作った字です。

むかし、中国では、羊の肉が「美味（おいしいこと）」で栄養があるものとされてきました（「美（3年403）」参照）。それで、「羊を食べる」という意味の「養」の字が「体を「やしなう」という意味を表したものです。【例養生、栄養、養分。

「子どもを育てる」という意味にも使われます。【例養育、養子。

「老人の世話をする」意味にも使います。【例養老。

「心をやしなう」意味にも使います。【例教養、修養。